

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者
ヒアリング（116）」

2. 日時：令和2年12月25日（金）13時30分～14時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、佐口主任安全審査官、海田主任安全
審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、磯田係
員、松末技術参与

北海道電力株式会社：藪執行役員 他12名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

《本年12月17日に受取済み》

- ・泊発電所3号炉地盤（敷地の地質・地質構造）に関するコメント回答
- ・泊発電所3号炉地盤（敷地の地質・地質構造）に関するコメント回答
（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁谷です。
0:00:05	泊発電所 3 号炉地盤に関するコメント回答ということで、ヒアリングを行いたいと思います。
0:00:12	今日のヒアリングはですね、先週、
0:00:15	12 月 17 日のヒアリングで時間切れであったと確認事項、すべて
0:00:23	確認できなかったっていうのもあって、
0:00:26	前回のヒアリングの引き続きの
0:00:29	ヒアリングということで、資料も 12 月 17 日の資料で、
0:00:35	行いたいと思います。
0:00:37	それで、
0:00:40	前回のヒアリングを踏まえて、何か追加で説明したいこと等ありましたら、北海道電力から説明をいただいてもいいんですけど、なければ、もう確認に始めます。
0:00:57	北海道電力でございます特に当方からですね追加で説明することはございません。よろしくお願いします。
0:01:07	はい規制庁谷です。それでは確認の方。
0:01:10	引き続き始めたいと思います。
0:01:25	規制庁タニです。
0:01:29	前回のヒアリング後も資料確認させていただいてまして、
0:01:35	確認したい点としてはですね。
0:01:39	最終的にTS作業にっとの時代感と、
0:01:44	いうところなんですけれども、これは
0:01:47	時代間の説明としては 300。
0:01:50	18 ページ。
0:01:54	318 ページと 319 ページが、
0:01:59	すいません
0:02:01	はい。
0:02:04	途切れ途切れでちょっと聞こえないような
0:02:08	もうすいません。ちょっと飛び入れておいて、聞こえない状態ですはいちょっとあの環境変えます。ちょっと待ってくださいね。
0:03:00	規制庁タニですけど、北海道電力さん聞こえますか。
0:03:07	北海道電力イズミです今これクリアに聞こえております。
0:03:13	それではこの環境で続けたいと思います。
0:03:18	前表しました。はい。家確認なんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:24	BS3 ユニットのの時代感、各ユニットの時代感堆積時期に関する検討ということで、318 ページと 319 ページに書いているこれが
0:03:37	時代間の説明ということでよろしいでしょうか。
0:03:47	ホッカンの電力の渡辺です。
0:03:50	M1、PS33Bも含めた堆積時期に関する検討の内容については 318、319 ページ。
0:04:00	今まとめておるものになります。このエビデンスについては後ろにつけていたりちゅう鉱物鑑定を関係については表の中でますけども、そういった形で一式整理をしているものとなります。以上です。
0:04:15	はい、規制庁タニですありがとうございます。つまりこのページに書いてあることってというのは、供給県の検討しましたということと、各堆積ユニットの協会に土壌化或いは傾斜不整合が認められていない。
0:04:30	或いは
0:04:33	えっと、火山ガラスですね、火山ガラスの
0:04:36	後期更新世のテフラが入っていないというようなことを主に根拠に使っているってことで理解しているんですけども、
0:04:47	これはあれは。
0:04:48	そのあとに出てくる。
0:04:52	BS3 ユニットの上に、
0:04:54	益田層が分布していた。
0:04:57	と考えていること、これは特に
0:05:00	時代からの説明では使っていないってことなんでしょうか。
0:05:10	ワタナベベースの堆積時期に関する検討としましては、このPS3Bの上にその層があって、それに狭在されていたということについては、
0:05:22	時ないかな。
0:05:25	まず、ここまで堆積時期に関しましてはこの 318319 の内容になってきます。
0:05:32	挟まれていたということに関しましては、上の地層が失われておりますので、推定の域を出ないという部分がございますので、そこに関しましては、この後のこの 1-3 所段丘編年のほうで地殻のF1 開削
0:05:49	挟まれていたとする。
0:05:52	で整理しております。以上です。
0:05:56	規制庁タニです。アmanoの整理の内容ってというのはですね、確認できました。それでですねちょっと確認をしたいんですけども、先ほどの説明説明というか昨今な書いてある内容の中で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:12	特に時代感っていうのをですね、説明しているのとしては、まああの火山ガラスっていうのが結構
0:06:22	時代感という点ではですね。
0:06:26	データがついているところだと思うんですけど。
0:06:29	これって火山ガラスいいかい。
0:06:33	例えば重鉱物だとか、そういった
0:06:38	後期更新世のテフラと学区したりとか、あと、斜方輝石もいろいろデータとられたと思うんですけど、斜方輝石の観点から、何か言ったりとか、あとは
0:06:53	斜方輝石は基盤が
0:06:56	基盤が斜方輝石も分析しているわけなんですけれども、基盤がんの斜方えつと斜長石ですね、斜長石は基盤が取ってるんですけど、斜方輝石だとか、角閃石、
0:07:12	これについては基盤からは、データをとっていないんですか。
0:07:20	はい。
0:07:24	ワタナベです堆積時代間に関しましては現状はこの火山から数に関する考察といったものが主になってきます。一方で重鉱物という観点につきましては、今までデータの積み上げがあるということと、
0:07:42	タニさんが御質問をされていた基盤が対象としているのかということに関しましては、
0:07:49	現時点で基盤を対象としたデータというものは有してございません。ただし、前回の12月17日のヒアリングの結果なども踏まえまして、現在、開削調査南側に認められております火山礫凝灰岩、
0:08:05	そして、歳出凝灰岩を対象としました9鉱物の屈折率、
0:08:10	分析というものを進めております。これ現状はサンプリングを終わって、現在分析会社のほうで分析と分析中というものになります。こちらに関しましては1月中旬頃には結果が得られる見込みじゃないかと思うように考えております。以上です。
0:08:29	規制庁タニです。基盤がについても、重鉱物の分析を今もう着手してるっていうことで理解しました。そ
0:08:39	あとは火山火山ガラスでは、後期更新世と比較しているんですけども後期更新世のテフラですね。
0:08:51	重鉱物の観点からは特に
0:08:56	比べるようなデータっていうのは持っていないんですか。
0:09:10	。
0:09:18	北海道電力でございます。期中規制庁さん聞こえますでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:24	今泉さんの声聞こえ始めてます。
0:09:29	それですね先ほど血のワタナベがですね、鑄鋼物の関係で
0:09:36	お返事回答させていただいたんですけどもそれは最後まで聞こえましたでしょうか。
0:09:42	はい。今分析中ということで基盤からもう重鋳物をとっているという説明を聞こえました。
0:09:51	それ以外に補足なんかはわかりますか。はい。
0:09:54	いえ、その通りでございますそれその塗装以降ですね、これそれぞれに対して、タニさんがコメント始めた辺りから少し音声聞こえなくなりましたので、そこから再開していただければありがたいです。はい、えっとですね、重鋳物、今基盤から戻ってるってということなんですけれども、
0:10:15	今回の資料では火山ガラスで後期更新世のテフラがまじっていませんといった趣旨で資料をつくられていると思うんですけども、この
0:10:29	後期更新世の火山灰っていう観点でいうと、例えば重鋳物とか、
0:10:36	斜方輝石、角閃石を用いてTephraと比較とか、そういったことはされていないのかできないのかとか、その辺ちょっとお考え聞かせてください。
0:10:50	ワタナベです。例えばですから 10 交通斜方輝石、
0:10:56	ホルムズ連動用いて一般的にお泊まり周辺に到達していると文献などでされているテフラのカタログ値との対比などというそういったイメージのことをおっしゃっていますでしょうか。
0:11:09	規制庁のタニその通りです。火山ガラスと同じような観点でですね、整理できないかというのが検討されているかです。
0:11:22	ワタナベです。現時点例、そういった指標となる火山灰との対比というのは火山ガラスをメインにやっているところがございましたので、そこまで主成分 10 項目の中成分を詰めて後期更新世のテフラとの対比というところはこれまで、
0:11:39	でも説明した実績はございませんけれども、検討を進めていくことは可能かと考えてございます。
0:11:47	以上です。
0:11:51	規制庁タニです。今のところはするデータとしては持っていないっていうのをわかりました。
0:11:56	ちょっと火山グロスっていうのもですね、量が限られているとかですね、時時代とともにこうちょっと変質したりとかすることもひょっとしたらのあるかもしれませんので、ちょっとその辺も論点になってくるのかなと思っています。
0:12:23	はい。あと規制庁タニですけど、前回のヒアリングでも同じような話題が出たんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:32	私そのあとですね過去のいろいろ資料も見てみましたけれども、例えばですね、
0:12:41	北海道電力は、周辺で敷地内或いは周辺でトレンチをこれまでやってきて、それは段丘堆積物の間の確認の観点でやっている。
0:12:57	で、
0:12:58	そのデータの中にはいろいろですね、例えば陸成層対象とした。
0:13:04	屈折率や主成分分析Hm2 だとかHm3 だとか、そういったデータも或いは河成の堆積物ですね、そういったデータもかなりの量があると思います。前回ヒアリングで
0:13:23	そういったデータもありますっていうことだったんですけど、今後この辺も取りまとめられて、今取りまとめられてるっていうことですか。
0:13:41	規制庁タニです
0:13:45	規制庁タニですけど。
0:13:48	堆肥の対象として整理されているかというのを聞きたいんですけど。
0:13:58	北海道電力の渡辺です。
0:14:01	堆肥どう対象として、これまで当社として積み上げてきたデータもございます。例えば茶津側の側に位置しているA地点ですとか、3号炉の南側に位置しているC地点などございまして、
0:14:16	A3 ではHm3 段丘堆積物があったり、C1 でもエイチームさんがあったりする、その上位に陸成層があったりします。これまでの火山灰分析等今回敷地のF1 開削箇所付近で実施している火山灰分析でもデータのちょっととセット例えば主成分がすべてそろっているかという、重鉱物に関しては、
0:14:36	そんな状況ではなかったりするという部分もございまして、
0:14:40	ちょっと前回のヒアリングでも話したように、
0:14:44	斜長石の観点において、
0:14:47	比較的堆積年代が若い堆積物の斜長石の性状というものも確認すべきではないのかという話もいただいておりますので、
0:14:57	当シャツ敷地の外ではないんですけど3トレンチという部分と、C1トレンチという2ヶ所、ここでそれぞれ後期更新世の陸成層、或いは斜面堆積物というものを確認しておりますので、
0:15:12	そこで新たにサンプリング、これもヒアリング以降に実施してございまして、斜長石のサンプリングをして屈折率、主成分というものを取ってみて、今論点になっている開削調査南側に認められている各ユニットちゅうの斜長石との対比などもしてみようこのように考えてございます。以上です。
0:15:36	はい、あの状況確認できました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:40	対象としてはHm2 とかを対象としてHm3 も切れてるんですがその対象もう一度教えてください。
0:15:52	ワタナベです。当対象としては、今回の資料でいく 318319 の火山ガラスの取りまとめでも書いてあります通り、まず後期更新世を示唆するものは、ガラスの観点には入っていないというところがございます。
0:16:10	それと同じように、前回のヒアリングで斜長石も大きい更新世の堆積物とは違うということも補強が必要なんじゃないかという話ございましたので、具体的に申し上げさせていただきますと、
0:16:22	3トレンチと、いうHm3 段丘堆積物が認められている上位に陸成層がございます。具体的な名称といたしましては、
0:16:36	ちょっとお待ちください。
0:16:39	歳出シルト層という陸成層がございます。ここがこれまでのデータの積み上げでいきますと、SPFaわりになりされる火山ガラスが混乱している地層となります。ここからサンプリングをまず行って、社長堰の主成分屈折率を見ようと思っております。
0:16:57	同じような観点で、敷地の南側に位置しているC1 トレンチ、ここもHm3 を確認している場所になるんですけども、その上に洞爺SPFAI二体されるガラスが混在する斜面堆積物シルトまじり砂礫数を
0:17:14	それとその上位の陸成層シルト質な層、ここからサンプリングをして分析に着手しているというような状況になります。以上です。
0:17:25	はい規制庁谷です。
0:17:27	まあ、段丘堆積物より上の陸成層対象としているというふうな説明かと思いません。
0:17:34	状況をわかりました。
0:17:36	それで、今社今ほどの説明を社長さ社C社、斜長石の話なんですけど、重鋳物のデータもですね、これだけ沢山あるようなデータを総合的に見て、時代とともにどういう変化があるのかとか、そういった整理も、
0:17:57	そういった整理はされているんでしょうか重鋳物、
0:18:01	のちょっと時代が違うものを比べたりとかですね。
0:18:10	ワタナベです。現状してはいないんですけども、御指摘の趣旨もよくわかりますので、そのような観点での整理を進めさせていただければと思います。以上です。
0:18:22	規制庁たりする状況が起こりました。
0:18:25	あとはですね、
0:18:34	規制庁のカイダです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:37	今の話にちょっと補足しては主旨っていうのをちょっと
0:18:42	多分ご存知ご認識されてると思いますけど、お伝えしたいのは、例えば 321 ページで、
0:18:50	前回私の方から何点かごし、指摘を確認したところ、こういった形で、
0:19:01	本来あるはずの新しい時代の後期更新世以降のテフラがとは特徴が違うと。つまりテフラ起源のものが、
0:19:12	ここで言うとカラスなんですけれども、入ってないというような御説明が、
0:19:18	あったとこの説明は一応
0:19:23	論理っていうか理屈は、
0:19:25	わかるんですが、結局その前提となるのはですね、この辺の今ちょっとワタナベさんの方からもお話あったんですけど。
0:19:36	この辺りの段丘の上にある新しい地層には、
0:19:40	大体こうすべからくこの一洞爺とかSPFM案とか、そういったものが実際に入ってる、純層の部分だけじゃなくて、リワークとして大体工事満遍なく全体にも含まれていて、
0:19:56	そういったものが確認できてるけど、
0:19:59	例えばこのTs3PS3Bとかには
0:20:04	入っていないという、大体ここにあるはずのものが、ケース 3 にはないんだというところが比較対象として、今までの先ほども
0:20:16	説明あったんですけど。
0:20:18	この周囲でやったトレンチの結果とかもうすでに大分出てますので、今回また改めて分析されるのも、
0:20:27	それはそれでいいかなと思うんですけど、
0:20:29	そういった観点で比較して示して欲しいという、そういった趣旨です。
0:20:36	ないっていうことは絶対本来なら絶対母あるはずなんだっていうところもちゃんと示した上で、
0:20:44	だからないんだっていうところの比較対象の説明ぶりというか、そういったところを
0:20:50	意識した形で説明していただきたいということですので、そこは認識はされていますでしょうか。
0:21:01	ワタナベです。
0:21:02	はい家補足ありがとうございます。そうですね、おっしゃる通り今ないというところだけが特化して、どうしても見えてしまっているようなつくりになっているんですけども、その前提としては、敷地及びその近くで、これまで実施してきている火山灰分析に基づけば、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:21	明瞭な火山灰の地層として認められるものではないんですけども、火山灰分析をしていくと、SPFM洞爺といったものがクリープとテフラとして認められているというバックボーンがございます。そのあたりをまず整理した上で、
0:21:38	それでは開削南にあるのかないのかという観点でいくと、それは確認されないと、そういった形で1から丁寧に
0:21:47	記載するような形にさせていただければと思います。以上です。
0:21:54	規制庁のカイダです。はい。そういった形で説明ぶりの方、またお願いします。私から以上です。
0:22:44	北海道電力でございます。規制庁さん聞こえますでしょうか。入ったりですと、こういったますしばらく音声は30秒ほど途切れたんですけど、まだ御発言されてないという理解でよろしいでしょうかはいそうです、発言しておりません。すみません。はい。はい、お願いします。
0:23:57	規制庁タニです。ちょっと話が変わってですね、補足説明資料で、
0:24:05	258ページ以降、
0:24:11	聞こえてますか。
0:24:14	はい、聞こえてリバーはい。F1断層認定している手順だとか、入ってる中で、
0:24:24	261ページ、これ
0:24:28	前回のか、
0:24:32	前の会合でもこの表はあったはずなんですけれども、ここで結局断層っていうのはF一応選んだ後にも活動時期が古い断層だとか、そういった断層認定しているっていうこれ表だと思うんですけども、
0:24:47	このここで書いてある断層等の敷地で、
0:24:52	11本ですかね。
0:24:54	11本断層がありますというこれまでの説明と、
0:24:58	この
0:24:59	断層としては認定してるんだけどその11本との関係はどのように考えてるんですか。
0:25:54	北海道電力の渡辺です。ここで言っている。
0:25:59	活動時期が古い断層等しているものにつきましては、このボーリングの中で、
0:26:05	あと、一方ですね、
0:26:14	複合面構造が見えるなどしているものもあるんですけども、走向傾斜の観点から、f1断層の活動性評価に対比させられるだろうと考えているものになりまして、既存のF1からF11までの
0:26:30	11条の断層とはまた別のものというふうに考えてございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:36	。
0:26:39	規制庁のタニですけど、その辺の考え方は今資料に入ってるんですかどこどこを見たら、確認できるか教えてください。
0:27:26	すみませんワタナベ図ちょっとお待ちいただいていいですか。申し訳ございません。
0:27:55	規制庁の谷です。
0:27:59	あのですね先ほど口頭では違うと答えがあったんですけど今の資料には落ちていないということをはっきりとしてるところ私も見てもこのなかったの、その関係とかをですね、お考えをしっかりと入れていただけたらと。
0:28:18	それを踏まえて我々も確認したいと思いますので、お願いします。
0:28:23	ワタナベです。申し訳ございません。はい。先ほど私が
0:28:28	発言したのも正しくない部分がございますので、その辺りも、
0:28:33	ちゃんと理解していただけるように、記載として落とし込ませていただこうと思います。申し訳ありません。
0:28:41	規制庁タニです。
0:28:43	エビデンスと一緒にですね、よろしくお願いします。
0:28:48	あとちょっと、ちょっと細かい話なんですけどこここれ今回の火山ガラスで広域テフラと比べてる絵とかがあるんですけども、その比べてるような火山ガラスの写真だとか、その教科での写真だとかどんな火山ガラスなのかとかいうのは、
0:29:05	これまで説明ありましたか。
0:29:14	教科での写真みたいなのはどっかついてたらみたいなの思ったんですけども、その辺は資料化できてますかっていうのを聞きたいだけです。
0:29:24	ワタナベです。これまでは携帯としてPublホールとかそういったことを書いてるのみで強化も写真とかを掲載したりした実績はございませんでした。
0:29:37	それは思っ治癒を持ってるのは思ってるけど資料化してないってことなんですか。
0:29:48	すみません。渡辺さん。これまで分析実施いただいている会社にそのあたり確認したこともあるんですけども、基本的にはその一旦写真はエビデンスとして残ってはございません。
0:30:14	。
0:30:15	です。
0:30:17	規制庁タニですけど。
0:30:19	多分分析の最終成果に入っていないのかもしれないんですけど、通常の高校観察の過程で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:27	写真っていうのは何かとってる可能性が高いと思いますので、もう一度ちょっと確認していただけたらと思いますんで見れるのであれば私はちょっとどういった火山灰を
0:30:41	評価してるのかっていうのは確認をさせていただきたいと思っています。
0:30:47	あとはベースは一同等を確認してるんですけど、弊社の場合こうだっというかね、急ぎで発注してるのが結構多くて、その関係もあって、
0:30:59	なかなかとってはいないっていうような回答はもらってございまして、ただ、改めて幾らかでも残ってないかという観点でもう1回確認はしてみたいと思ってございまして。しばらくすべてが残っているものでございまして。私渡辺さんの私の言い方悪かったかもしれませんすべてをの話とかじゃなくて、
0:31:17	例えば今回新しく取ってるようなものでも残っているのかとか、その辺、どういう時代間としてHmA2 ですかね。そういったものに当てはめているところとつている火山灰というのがどんなものなのかっていうの。
0:31:34	あるのかどうかっていうのを聞いていますので、全部が全部の話に昔の資料も含めてとかそういう話ではありません。
0:31:42	承知いたしました。確認させていただきます。以上です。
0:31:47	はい、お願いします。
0:32:26	もう
0:32:28	規制庁タニです。
0:32:30	えっとですね、前回のヒアリングでの残ん残った確認事項というのは今確認できました。
0:32:38	北海道電力から何かなければ、我々のほうの確認は以上にしたいんですけど、いかがですか。
0:32:59	北海道電力の泉でございます。やはりいろいろご指摘ありがとうございました遠くから今の関係で追加で少し確認したいこと等はございませんので、終了して結構かと思っております。よろしく申し上げます。
0:33:14	規制庁ナイトウですけれども、えっとね、今タニタニの言い方も良くなかったのでいいですとかけれども資料自体は今は読み込んでいますので、全部が全部解決したという扱いではなくって、次回のヒアリングまでもう
0:33:29	我々としてはまた中身見ていくんだけれども、今回ヒアリングさせていただいたのは、データがあるかないかによって大分違うので、新たにとるとかいう話と時間がかかるような話があるのでそれがとられて、
0:33:49	いる持ってるか持っていないのかというちょっと確認させていただきたかったんだけど、現状持っていないっていうものが多いということでもう手つけてるって

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>いうことは理解しましたので、次回ヒアリングに間に合わない可能性もあるということですか、中旬と言ってたから、</p>
0:34:05	<p>そういう理解でいいですか。</p>
0:34:13	<p>ワタナベです。今手がけている分析関連につきましては、具体的に行くと1月12の修理はそろそろというふうに考えてございますので、追い例えば1月19とかそれぐらいのヒアリングが可能であれば、</p>
0:34:29	<p>そこにすべてそろえて御説明することは可能かと思うように考えてございます。以上です。</p>
0:35:51	<p>規制庁のほうですけど、ピットとか市場としてできるのが19ぐらいになるっていう、そういうイメージを持つとけばいいということですよ。</p>
0:36:00	<p>ワタナベです。はい。19ぐらいには一式そろえて説明できる状態資料として成り立ってる状態にできると思っております。以上です。</p>
0:36:10	<p>通常のナイトウですけれどもちょっとスケジュールは後でまたうちの中でも、考えた上でまた別途相談させていただきたいと思います。ちょっとそれだと。</p>
0:36:23	<p>もうちょっと早くして欲しいなっていう感じもなきにしもあらずなのって、また別途、事務的に調整させていただければと思います。</p>
0:36:37	<p>はい、承知いたしました。</p>
0:36:55	<p>規制庁の伊藤ですけども確認なんだけれども、往々も議論になっている上載層として、使うTsさん。</p>
0:37:11	<p>あとはその上にあるB。</p>
0:37:15	<p>うん。</p>
0:37:16	<p>については今、火山ガラスとか、その他でやってるんだけど、そこに重鉱物も含めて供給減も含めて、重鉱物のデータがそろってくるような形の準備をされているというふうに理解しておけばよろしいですか。</p>
0:37:33	<p>ワタナベです。はい。TBSさん3Bそのものに関する重鉱物のデータをすでに保有しているんですけども、基盤がんという観点で斜長石と比べると抜けている状況になるので、そこを埋めて供給減という部分でも、</p>
0:37:48	<p>斜長石と同じ程度セットと伝えそのように準備すると思っております。以上です。</p>
0:38:19	<p>規制庁の伊藤ですけども、えっとね、閉講社長堰の面積なのか、何で玄武岩数に寄っているのか安山岩質に寄っているのかっていうところがちょっとばらつきがあるようにも見えてるって話は前回の会合、</p>
0:38:37	<p>ヒアリングでも言ってんだけど、その関係で包含っていうか、基盤側のところについては何点かとなっているということでもいいですか。</p>

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:02	また個別当社長石に関しましては、前回の本編資料でいくと 295 ページに意識整備。
0:39:11	一覧表で整理してございます。
0:39:14	このうち基盤がについては、緑のハッチングをかけている二つになってございまして、PL火山礫凝灰岩そしてTs算出凝灰岩それぞれ 1ヶ所ずつ、計 2 データ、これを有しているという状況になります。
0:39:29	以上です。
0:39:36	規制庁のですけれども、そういう箇所というと、
0:39:39	2ヶ所、2種類、
0:39:42	どっちですか、に 2ヶ所、箇所箇所で一步、2ヶ所です。
0:39:49	2ヶ所の 1ヶ所ずつで算出業界が 1ヶ所火山礫凝灰岩 1ヶ所というような内訳になります。
0:40:04	もうこれと現状持つデータは規制庁のテストは現状持つデータについて理解しますと、これ前回ヒアリングにおいて基盤が載ってるやつについては中性のやつ棟借り良いかC2 と思うやつってということで、うん。
0:40:19	二つの種類がありますよねと歴史がんの種類によって若干違いますという話と、
0:40:27	DS1 位等、後はTS3 のところでも若干違いが見られますよねってところも含めて分析をしてください。して下さるとい形になってるんだけど、
0:40:39	この部分は、
0:40:40	それはそれでまた別途ちゃんとやってるっていう理解でいいですか。
0:40:47	はい。
0:40:48	すみません前回のヒアリングにおいては、例えばこの後に、
0:40:54	参画ダイヤグラムとかついてくるんですけど、全体としてちゅう精査長石が多いという考察だけではなくて、もう少し個別に細かく考察を加えて欲しいというような御話がありましたのでその辺りは整理していこうと考えてございます。
0:41:09	の話でいくと、ここの 295 ページで言っている冊数凝灰岩が少し遠規制側に触れていて、それと対応するような形でTS1 ユニットも塩基性が似ているといったところ、こういった細かいところを考察していこうと思っております。
0:41:27	以上です。
0:41:30	規制庁ナイトウのですけれども、
0:41:32	一方、どころPS
0:41:36	TS1 シリーズとPS3 シリーズ。
0:41:40	これヒストグラムがないから、どのくらい違うのかってのはなかなかわかりづらい部分もあるんだけど、T三 1 と 1Ts日当

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:52	若干傾向違うし、イーピーエスさんシリーズと若干傾向が違うような感じもあるのでその辺は供給減という形でどう考えてるのかっていうのはよく整理をして説明いただきたいと思いますので、そこはよろしくお願いします。ここの部分でまたという鉱物、もう使って、
0:42:09	んであれば重鉱物も同じような形で並べていただくとよりわかりやすいと思うので、よろしくお願いします
0:42:17	はい、承知いたしました。
0:42:27	規制庁タニですけど、それでは本日のヒアリングをしたいと思います。お疲れ様でした。
0:42:34	はいどうもありがとうございました。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。